河内小学校通信

第４６号
令和５年１月２０日(金)
文責：校長　平塚　学

３学期のめあて

今日の昼の放送で，各学級の代表児童による「３学期のめあて」の発表がありましたので，お知らせします。

３学きのめあて

２年　Ｙ．Ｉ

学習めんでは，算数の「大きい数のひき算とたし算」をまちがわずにできるようにします。前に，ならった方ほうで，くり上げたりくり下げたりすれば，どんなに大きな数でも，正しく計算ができると思うので，がんばります。

国語は，「ことばの学習」をしっかりおぼえてがんばります。しゅ語，じゅつ語を正しく見つけたり，ようすをあらわすことばやうごきをあらわすことばをすばやく見つけられるようにしていきたいです。

なわとび記ろく会があります。わたしは，後ろりょう足あやとびと後ろかけ足あやとびをとびます。前の人の記ろくをやぶれるようにがんばります。まだまだ，今までの記ろくをぬかしていないのでがんばります。じきゅうとびは，２分間とばなければならないので，がんばります。

新年の抱負

６年　Ｓ．Ｎ

わたしの３学期の抱負は，３つあります。

１つ目は，学習面です。特に，２月にある「学力テスト」をがんばりたいです。８０点以上とれたらいいなと思っています。そのために，いままでのテストでまちがった問題や応用問題の復習をしていきたいです。

２つ目は，生活面です。６年間お世話になった学校をていねいに，きれいにそうじをしていきたいです。そうじの時間には，班長としてみんなをまとめながら，きれいにそうじをしたいです。

３つ目は，中学校へ行っての生活です。４月からは中学生なので，勉強と部活動をがんばりたいです。勉強は，とてもむずかしくなると思うので，まとめをしっかりとやりたいと思います。部活動では，同じ部の人たちと協力して，楽しくやりたいです。

短い３学期なので，健康に気をつけながら，一日一日を大切にしてすごしたいです。

３学期のめあて

４年　Ｈ．Ｉ

まず，学習のめあては，算数をがんばることです。「がい数」の問題でまちがいが多かったので，もう一度復習したいです。また，授業では，自分からもっと手を挙げられるようにアップデートしたいです。

次に，生活面では，もっと家族の役に立ち立ちたいので，お手伝いをがんばります。冬休みはおふろそうじを手伝うつもりだったのですが，あまりできませんでした。食器洗いと洗たく物たたみは，毎日続けたいと思います。

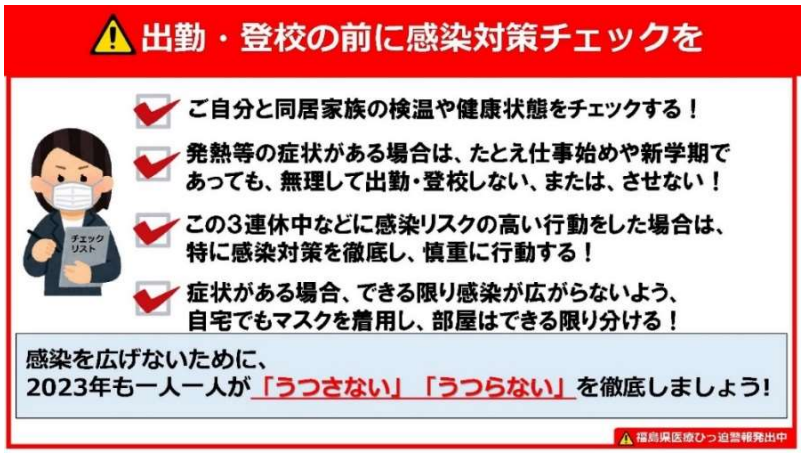
最後に，運動面では，なわとび記録会があるので，最低でも進級カードを５級までいきたいです。４年生の時に１級まで進んだ先ぱいもいるので，自分も１級をめざしたいです。毎日１０分以上は練習するつもりです。

今年は，うさぎ年なので，うさぎのように飛やくできる年にしたいです。

福島県医療ひっ迫警報が延長をなりました

昨年１２月１６日に発出され，１月１５日までの予定だった「福島県医療ひっ迫警報」ですが，新規感染者数が減少しないことを受け，２月５日まで延長されることになりました。

１月に入り，やや減少傾向は見られるものの，まだ高止まりしている状況に変わりはありません。学校でも今まで実施してきた手指消毒，手洗い，教室の換気，ソーシャルディスタンスの確保，マスクの着用の徹底，スイッチや手すりや教室の机等の消毒などの感染対策を行っていきますので，各家庭でも，以下の協力をお願いします。

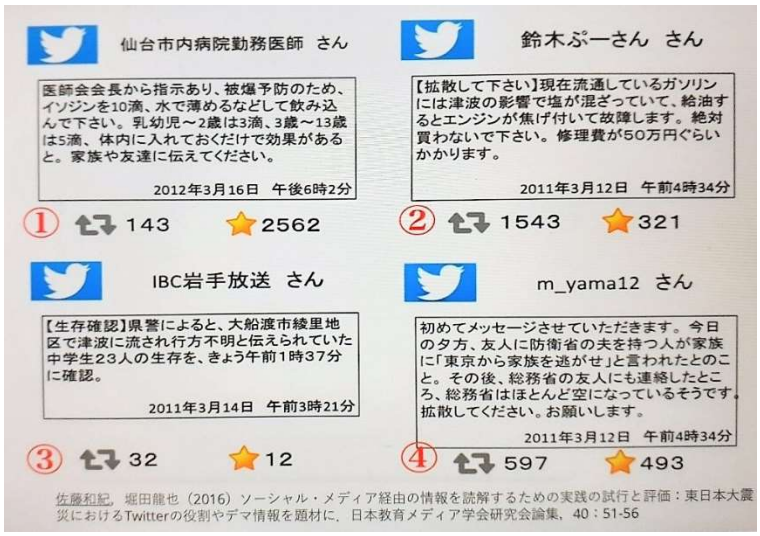
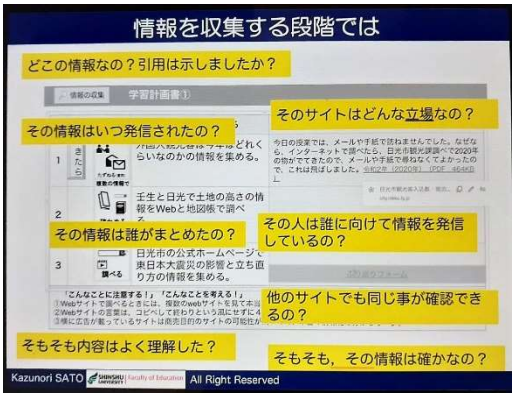


１月６日に出されたものなので，３連休と入っています。ご了承ください。

1. 毎朝の検温と健康観察の徹底をお願いします。また，下校後等の健康観察も併せてお願いします。
2. 万が一，発熱やのどの痛み等体調が悪いときは無理をせず療養し，医療機関の受診等をお願いします。（新たな変異株が発生しています。一度陽性になった人も感染する可能性があります。）
3. 同居家族に発熱等のかぜ症状がありましたら，医療機関での受診結果が分かるまで登校を控えてくださるようお願いします。（出席停止扱いとなります）

郡山市ＰＴＡ連合新春教育懇談会報告

１月１８日(水)に郡山市ＰＴＡ連合新春教育懇談会が Zoom を使ったオンライン形式で開催されましたので，ご報告いたします。会長あいさつや次年度の郡山市ＰＴＡ連合会の主な行事予定の報告後，信州大学准教授　佐藤和紀　様による講演がありました。演題は「メデイアリテラシー育成における学校教育と家庭教育の役割」でした。最初に，「右図の４つのツイートの中で正しい情報はどれでしょう。」という質問から入りました。ぜひ，親子で話し合ってもらいたいのですが，🔁は「リツイート」の数で，☆は「いいね」の数です。正解は，③の岩手放送からのツイートのみが正しく，他の３つはフェイクだったそうです。



インターネットの世界は多くの正しくない情報が溢れています。インターネットの情報を鵜呑みにせず，多面的に収集できる子どもを育成することが大切ということでした。インターネット接続は学校のタブレットとし，学校はもちろん，家庭でもどのように使っているかを見守り，保護者の経験を基に，助言をしていくことが大切ではないかということでした。